



2026年5月11日

各位

会社名 株式会社奥村組
代表者名 代表取締役社長 奥村 太加典
(コード番号 1833 東証プライム)
問合せ先 管理本部経理部長 奥田 俊輔
(TEL. 06 - 6621 - 1101)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2026年2月13日の決算発表時に公表しました2026年3月期の業績予想及び期末の配当予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 302,500	百万円 15,200	百万円 17,600	百万円 13,600	円 銭 379.14
今回修正予想(B)	307,200	15,920	25,310	18,360	511.79
増減額(B-A)	4,700	720	7,710	4,760	
増減率(%)	1.6	4.7	43.8	35.0	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	298,222	9,731	8,926	2,722	74.01

2026年3月期通期個別業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 296,000	百万円 17,700	百万円 18,600	百万円 13,800	円 銭 384.72
今回修正予想(B)	301,390	18,550	20,250	15,650	436.24
増減額(B-A)	5,390	850	1,650	1,850	
増減率(%)	1.8	4.8	8.9	13.4	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	290,359	13,416	13,910	6,956	189.08

修正の理由

(個別業績予想)

- ・土木事業の売上高の増加等により営業利益が増加
- ・営業外収益に為替差益を計上したこと等により経常利益が増加

	売上総利益率		
	建設事業	土木	建築
前回発表予想	12.5%	15.3%	10.8%
今回修正予想	12.5%	15.2%	10.7%

(連結業績予想)

個別業績予想の修正に加え、以下の理由から連結業績予想の修正を行うものです。

- ・営業外収益に為替予約評価益(※)を計上したこと等により経常利益が増加

(※) 為替予約評価益の計上については、本日別途公表しました「営業外収益(為替予約評価益)の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

●配当予想の修正について

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2026年2月13日発表)	円 銭	円 銭	円 銭
		154.00	264.00
今回修正予想		187.00	297.00
当期実績	110.00		
前期実績 (2025年3月期)	113.00	103.00	216.00

修正の理由

利益配分については、経営上の最重要課題の一つと認識しており、現中期経営計画(2025～2027年度)期間中における当社の株主還元政策については以下のとおりで、一過性の特殊要因である「為替予約評価損益」は、配当性向の計算に含めないこととしています。

この株主還元政策を踏まえた上で、当期の年間配当金予想については、通期連結業績予想の修正に伴い、1株当たり期末配当金を前回予想の154円から33円増配した187円に修正し、1株当たり年間配当金を中間配当金110円と合わせた297円といたします。

なお、本件は2026年6月開催予定の第89回定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定です。

中期経営計画(2025～2027年度)期間中の株主還元政策

連結配当性向^{※1} 70%以上(業績に関わらず自己資本配当率(DOE)^{※2} 2.0%を下限とする)

※1 連結配当性向 = 年間配当総額(中間+期末) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益
[一過性の特殊要因(為替予約評価損益)による影響を除く]

※2 自己資本配当率(DOE) = 年間配当総額(中間+期末) ÷ 自己資本

(注)上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上